

# S さくらがわ public relations Sakuragawa



—広報さくらがわ—

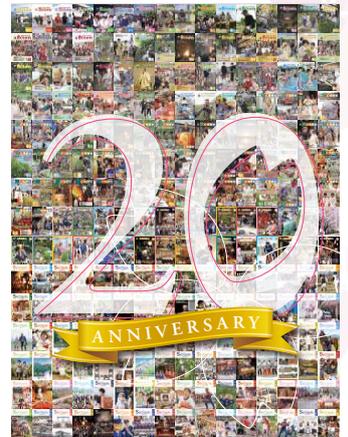
ANNIVERSARY

市制施行 20 周年 記念 特別号

CONTENTS

- 02 市長挨拶・議長挨拶
- 03 桜川市のデータ
- 04 桜川市 20年のあゆみ
- 06 桜川市市制 20周年  
お祝いメッセージ
- 08 桜川の四季

表紙



桜川市は、平成17年10月1日に岩瀬町、真壁町、大和村の3つの町村が合併して誕生し、令和7年10月1日に市制施行20周年を迎えました。表紙は、これまでに発行された広報さくらがわの歴代の表紙240枚を組み合わせで作成したものです。一つひとつの表紙からは、市民の皆さまとともに築いてきた桜川市の歴史を感じることができるものとなっています。

桜川市市制施行20周年記念ロゴマーク



市の職員が作成したデザインの中から、市民の皆さまによる投票を実施し、投票数が最も多かった上記のデザインが『桜川市市制施行20周年記念ロゴマーク』として選ばれました。



桜川市長  
おつか ひで 喜  
大塚 秀喜

更なる発展への  
スタート地点

桜川市は平成17年10月1日に岩瀬町、真壁町、大和村の合併により誕生し、桜川市として新たな歩みを進めてまいりました。市制施行20周年という節目を迎えることができましたのも、市民の皆さまの郷土への深い愛着とたゆまぬ努力の賜物であると心より感謝申し上げます。

この20年間、市では、市民の皆さまが安心して暮らせる、住みよさを実感できるまちを目指し、真壁伝承館や生涯学習センター「さくらす」の建設など公共施設の整備や、さくらがわ地域医療センターの開院などの医療体制の

整備、学校の統廃合やICT教育の充実による教育環境の整備など、様々な事業に取り組みでまいりました。

近年本市を取り巻く環境は大きく変化しています。少子高齢化や人口減少、地球温暖化による自然災害の激甚化や感染症などといった課題に向き合いながら、市民が安心して暮らせる環境を整えること、そして地域資源を活用した持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

このような状況の中、本市では「ヤマザクラ」と市民の幸せが咲くまち「桜川」をまちの将来像に定め、6つの基本理念を掲げ、まちづくりを進めています。

市制施行20周年は、更なる発展へのスタート地点となります。先人たちが築き上げたものを再認識するとともに市民一人ひとりの個性が輝く桜川市を目指してさらに飛躍ができるよう取り組んでまいります。

今後とも本市のさらなる発展のためにより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



桜川市議会 議長  
かぜの かずみ  
風野 和視

20年の感謝と  
新たな一歩を

桜川市が市制を施行してから、本年度20周年という節目の年を迎えました。市議会を代表し、心よりお祝いを申し上げますとともに、これまで市の発展のために尽力されてきた市民の皆様に、深く感謝申し上げます。

平成17年10月1日に2町1村が合併して「桜川市」が誕生し、新たな一歩を踏み出してから20年、市民一人ひとりのご協力のもと、数多くの課題に向き合い、幾多の試練を乗り越え、まちづくりを進めてまいりました。

この20年間を振り返りますと、東日本大震災や新型コロナウイルス感染

症、物価高の影響など多くの困難や課題に直面する中で、地域医療の充実、教育環境の整備、防災・減災への取り組み、インフラの整備など多岐にわたる分野で成果を上げてまいりました。市議会といたしましても、市民の声を受け止めながら、市政の健全な発展に寄与すべく議論を重ね、地域全体の未来を見据えて政策を後押ししてまいりました。議会改革にも取り組み、議員定数の削減、議会のICT化、本会議の映像配信など、より開かれた議会、信頼される議会を目指して日々努力を重ねてまいります。

これからの桜川市は、少子高齢化や人口減少、過疎といった課題の中で、地域の持つ資源と知恵を活かし、魅力をもさらに高めていくことが求められます。私たち市議会も持続可能な地域社会の構築に向けて全力で取り組んでまいります。

結びに、市民の皆様のご健勝とご多幸、そして桜川市のさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉とさせていただきます。

## 桜川市のデータ

## 市民憲章

わたくしたちは、伝統と豊かな自然に恵まれたふるさとを愛し、  
限りない繁栄と幸せを願って、市民憲章を定めます。

- 1、市民と行政が協働で住みよいまちをつくります。
- 1、互助と信頼を深め、安心とやすらぎあるまちをつくります。
- 1、教養を高め、豊かな心と健やかな体を育むまちをつくります。
- 1、豊かな自然と歴史・文化が調和する潤いのあるまちをつくります。
- 1、地域資源を活かし、活力に満ちた豊かなまちをつくります。



## 市の花

ヤマユリ



## 市の木

サクラ



## 市の鳥

ウグイス



## 人口・世帯数 (令和7年9月1日時点)

総人口：35,530人      世帯数：13,616世帯  
男性：17,675人  
女性：17,855人



## 農業産出額 (令和5年度)

全体：72億3千万円  
そば：1億3千万円 (県内2位)  
こだますいか：5億3千万円 (県内2位)

全国  
8位

## 国・県指定文化財数 (令和6年度末時点)

総数：59件 (県内2位)  
国指定：7件  
県指定：52件



## 児童・生徒数 (令和7年5月1日時点)

小学校：889人  
中学校：511人  
義務教育 (前期)：505人  
義務教育 (後期)：324人



## 産業別就業者数 (令和2年)

第1次産業 (農業・林業など)：1,341人  
第2次産業 (製造業・建設業など)：6,487人  
第3次産業 (小売業、医療業など)：10,864人

# Sakuragawa city History 2005—2025

# 桜川市 20 年のあゆみ



2024年7月  
桜川消防署完成



2021年11月  
マスコットキャラクターの愛称が「さくりん」に決定



2018年10月  
さくらがわ地域医療センター開院



2016年9月  
筑波山地域ジオパークが日本ジオパークに認定



2013年9月  
学校給食センター稼働開始



2011年3月  
東日本大震災発生



2008年12月  
桜川市立大和中学校新校舎完成



2005年10月  
桜川市誕生



2025年2月  
生涯学習センターさくらす開館



2024年  
天然記念物「桜川の桜」が国の指定から50周年



2019年10月  
いきいき茨城ゆめ国体ライフル射撃競技大会開催



2018年5月  
フィリピン共和国バコール市と友好交流都市協定締結



2015年9月  
市制施行10周年記念式典



2011年9月  
真壁伝承館開館



2008年12月  
北関東自動車道桜川筑西 IC 開通



2006年10月  
総合防災訓練開催

2025 令和 7年	2024 令和 6年	2023 令和 5年	2022 令和 4年	2021 令和 3年	2020 令和 2年	2019 令和元年	2018 平成30年	2017 平成29年	2016 平成28年	2015 平成27年	2013 平成25年	2012 平成24年	2011 平成23年	2010 平成22年	2009 平成21年	2008 平成20年	2007 平成19年	2006 平成18年	2005 平成17年								
10月	9月	4月	2月	7月	4月	4月	11月	4月	10月	10月	5月	4月	10月	6月	9月	10月	9月	3月	6月	7月	12月	4月	12月	11月	12月	10月	10月
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 桜川市誕生</li> <li>● ※初代市長 中田裕氏 就任</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 震度6弱の直下型地震を想定した桜川市総合防災訓練開催</li> <li>● 北関東自動車道路岩瀬トンネル貫通</li> <li>● ねりんピック茨城2007開催</li> <li>● ※桜川市がソフトボール交流大会の会場に</li> <li>● 市民憲章と市の花、木、鳥決定</li> <li>● 北関東自動車道桜川筑西IC（笠間西IC）開通</li> <li>● 桜川市立大和中学校新校舎完成</li> <li>● 北関東自動車道桜川筑西IC（真岡IC）開通</li> <li>● 岩瀬駅前ロータリー共用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 真壁の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定</li> <li>● ※県内初</li> <li>● 真壁伝承館開館</li> <li>● 東日本大震災発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者見守りネットワーク事業開始</li> <li>● ※県内初</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校給食センター稼働開始</li> <li>● 2代目市長 大塚秀喜氏 就任</li> <li>● 名誉市民に（故）平間小四郎氏、中田裕氏、飯島輝信氏 決定</li> <li>● 市制施行10周年記念式典と市民祭が同時開催</li> <li>● 市制施行10周年</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 筑波山地域ジオパークが日本ジオパークに認定</li> <li>● ブルガリア共和国シリストラ市と友好交流都市協定締結</li> <li>● 桜川市にゆかりのある6名にさくらがわ応援大使を委嘱</li> <li>● 広域連携バスの岩瀬地区延伸及び本格運行開始</li> <li>● 桜川市立桃山学園開校</li> <li>● フィリピン共和国バコール市と友好交流都市協定締結</li> <li>● さくらがわ地域医療センター開院</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いきいき茨城ゆめ国体2019ライフル射撃競技大会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策実施</li> <li>● 市内巡回ワゴン「ヤマザクラGOミニ」運行開始</li> <li>● 桜川市マスコットキャラクターの愛称が「さくりん」に決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 過疎地域に指定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● さくらがわ人生応援プロジェクト開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 天然記念物「桜川の桜」が国の指定から50周年</li> <li>● 名勝「櫻川」が国の指定から100周年</li> <li>● 桜川消防署完成</li> <li>● 筑波山塊の花崗岩が東アジア初のヘリテージストーンに認定</li> <li>● 桜川市生涯学習センター「さくらす」開館</li> <li>● 桜川市立真壁学園義務教育学校開校</li> <li>● 上曽トンネル供用開始</li> <li>● 市制施行20周年</li> </ul>																	

# 桜川市市制 20 周年

# お祝いメッセージ

桜川市にゆかりのある皆さんから

お祝いのお言葉を頂きました



声優・俳優・アーティスト  
さくらがわ応援大使  
**安達 勇人 さん**

桜川市市制施行20周年、心よりお祝い申し上げます。美しい自然と歴史、そしてあたたかい人々に支えられたこのまちが、さらなる発展を遂げ、未来へと輝き続けることを願っております。私自身、茨城を拠点に活動する表現者として、桜川市の魅力を多くの方に届けられるよう努めてまいります。



みずほ信託銀行株式会社 元取締役社長  
さくらがわ応援大使  
**中野 武夫 さん**

「すごくいい所だね」。仕事の関係でいろいろな方と会う機会が多いのですが、私が出身地である桜川市のお話をすると、多くの方が大変好感を持ってくれます。「桜川の桜、高峯のヤマザクラ」等をはじめいろいろなアピールポイントを活かしながら、更に桜川市が発展していくことを祈念しています。



陶芸家  
さくらがわ応援大使  
**島田 恭子 さん**

この度は、桜川市市制施行 20 周年おめでとうございます。さくらがわ応援大使として任命頂き、常に故郷を思い、誇りを持って語れることに感謝致しております。自分たちが最後の卒業生となりその後廃校になった桜が丘中学校は、ヤマザクラで美しい高峯の裾にありました。小学1年生から富谷分校より毎年歩いて行った花見は磯部神社でした。私の陶芸作品に描く桜はこの故郷の原風景からなのだと、歳を重ねるほどに感じます。桜川市がいつまでも美しい桜の里であり続けますように願っております。



ライフル射撃選手  
さくらがわ応援大使  
**山田 優子 さん**

大学進学を機に上京し、桜川市を離れてから数十年が経ちました。友と歩いた懐かしい道、緑一面の稲田を駆け抜ける風、折々に感じる季節の音や香り、親しみのある人々とのあたたかな交流など、自然豊かな桜川市で築いた素晴らしい思い出と絆は、今の私にとってかけがえのない宝となっています。

音楽家  
さくらがわ応援大使  
**小林 由佳 さん**



文化庁在外研修員としてイタリア留学中だった 20 年前、自分の感性は故郷桜川の豊かな風土や文化、町の人々の愛情の賜物と気づき、1 人涙し感謝したのを覚えています。今後も末永く山桜が美しく咲き誇り、益々魅力溢れる場所へと発展しますように…その為に自分が少しでも尽力できれば幸いです。祝桜川市市制 20 周年!!



競輪選手  
**雨谷 一樹 さん**

市制施行 20 周年おめでとうございます。全国各地に遠征し、そのほかはこの地で練習する日々を送るなかで、壮大で豊かな自然、温かな声援をくれる人の優しさにふれ、素晴らしい故郷に感謝しつつ、これからも選手として、人間として精進していきたいと思っております。



水戸ホーリーホック  
**飯田 貴敬 さん**

桜川市市制施行 20 周年、おめでとうございます!サッカーに出会い、サッカーを始めさせてもらった地でもある桜川市に心から感謝しています。これからも桜川市がもっと元気に、そして笑顔が溢れる市になっていく事を願っています。僕もサッカーを通して元気や勇気を届けられるよう、頑張っていきます。

市制施行 20 周年おめでとうございます。桜川市では幼少期を過ごし、とても思い出のある故郷です。現在は仕事の都合上離れていますが、帰省すると母校や雨引観音、上野沼やすらぎの里、磯部桜川公園など、大好きだった場所を走って回るのがルーティーンです。今後とも桜川市の益々のご繁栄をお祈り申し上げます。



陸上選手  
**細谷 恭平 さん**



能楽師  
**山中 一馬 さん**

市制 20 周年という節目の年に桜川市にちなんで「桜川」を舞うことができ、たいへん光栄に思っております。東日本で能楽の故郷となる地は本当に少なく、これを皆様でぜひ大事に育ててほしいと願っております。

SAKURAGAWA CITY

# ヤマザクラと市民の幸せが 咲くまち 桜川



つくば霞ヶ浦りんりんロード



高峯の山桜



雨引山楽法寺(あじさい)



真壁祇園祭



真壁のひなまつり



曙光山月山寺(紅葉)



桜川市  
SAKURAGAWA

桜川市  
公式HP



桜川市公式YouTube



桜川市公式LINE



桜川市公式Instagram

広報さくらがわ 10月1日号 別冊 市制施行20周年記念特別号  
発行：桜川市/月2回(1日/15日) 編集：市長公室秘書広報課

TEL：0296-58-5111 (代表) FAX：0296-58-5115  
〒309-1293 茨城県桜川市羽田1023番地

ホームページ：https://www.city.sakuragawa.lg.jp  
Eメール：info@city.sakuragawa.lg.jp



この広報紙は、環境保護のために古紙配合率100%の再生紙と植物性大豆油インキを使用しています